エ コ ア ク シ ョ ン　21

環　境　活　動　レ　ポ　ー　ト

（運用期間　：　平成22年4月　～　平成23年3月）

平成23年4月1日　作成

佐賀県武雄市朝日町大字中野10405番地

松 尾 建 設　株 式 会 社

代表取締役　　松　尾　俊　昭

TEL　　０９５４－２３－２１５５
FAX　　０９５４－２３－８８７２
E-mail　info@matsuo-kk.co.jp

construction of futuro society
MATSUO

目　　次

1　事業所の概要 …1

2　環境方針 …2

3　環境への負荷ならびに取組の自己評価
　1）【環境への負荷の把握】 …3
　2）【環境への取組の把握】 …6

4　環境目標 …8

5　環境活動計画の内容 …11

6　環境目標の実績及び環境活動の取組結果の評価 …14

7　代表者による評価と見直し …20

8　環境関連法規への違反、訴訟等の有無 …21

9　教育訓練の実施 …22

1. 事 業 所 の 概 要

1） 事業所名及び代表者名　　松尾建設株式会社
代表取締役　松尾俊昭

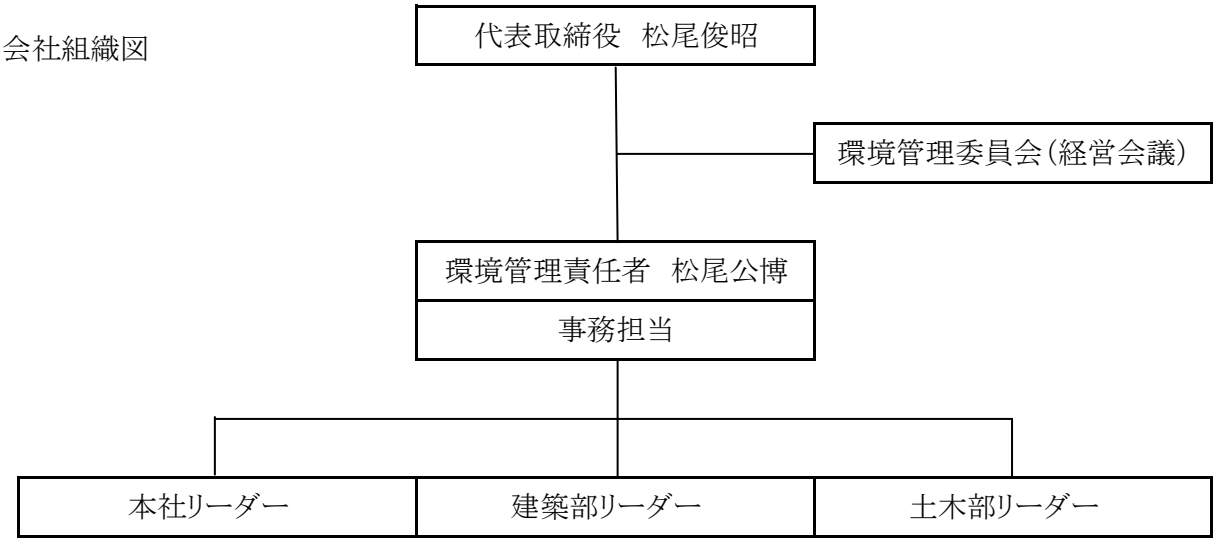
2） 所在地　　住所 ： 佐賀県武雄市朝日町大字中野10405
TEL ： 0954－23－2155
FAX ： 0954－23－8872

3） 環境管理責任者の連絡先　　責任者 ： 松尾　公博　　連絡先 ： 同上

4） 事業の内容　　建設業の許可
佐賀県知事(特-19)第1461号
土木工事、建築工事、とび･土工工事、舗装工事、水道施設工事
佐賀県知事(般-19)第1461号
管工事

5） 事業規模　　平成22年度実績
売上高　:1,043,500千円
従業員数 :23人
床面積　:431㎡

6） 会社組織図



2. 環 境 方 針

当社は、未来社会の建設を社是として掲げ、総合建設業を経営しております。
環境に対する問題が世界的な問題として提起されています。当社におきまし
ても環境に優しい未来社会の建設に今後も邁進してまいります。

1、事業活動に必要なエネルギーや市水の消費状況を把握して、省エネルギー、
節水に取り組みます。
2、建設廃棄物の発生抑制・削減・ﾘｻｲｸﾙへ取り組みます。
3、環境に配慮した（省エネ住宅等）建設物の提供、計画・設計に係る活動に
取り組みます。
4、建設資材等のグリーン購入に取り組みます。
5、建設現場における様々な環境配慮活動に取り組みます。
6、関連する環境の法規、条例及びその他の規制事項を遵守します。
7、全員参加による環境保全活動を実行します。

このために環境マネジメントシステムを確立し、見直しを行って、その
継続的な改善を行い維持します。

また、当社は、環境方針を含めて記述した環境活動レポートを当社において備え
付け、地域や一般への閲覧を可能にして公表します。また自社のインターネット
ホームページで社内外への情報提供を行うことによって積極的な環境コミュニ
ケーションに取り組みます。

平 成 22 年 4 月 1 日

松 尾 建 設 株 式 会 社

代 表 取 締 役　松 尾 俊 昭

3.　環境への負荷ならびに取組みの自己評価

1）【環境への負荷の把握】

当社における過去3年間の環境負荷は、次のとおりである。

＜ 事業所 ＞

（各年度は4月～翌年3月）

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	412848	408262	468261
	化石燃料	MJ	364719	350429	460616
	新エネルギー	MJ	－	－	－
	その他	MJ	－	－	－
② 総物質投入量	資源投入量	t	－	－	－
	循環資源投入量	t	－	－	－
③ 水質源投入量	上水	m3	180.00	182.00	179.00
	工業用水	m3	－	－	－
	地下水	m3	－	－	－
④ 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg－co2	47455	46240	57139
⑤ 化学物質排出量･移動量	大気への排出量	t	使用せず	使用せず	使用せず
	公共用水域への排出	t	使用せず	使用せず	使用せず
	土壌への排出	t	使用せず	使用せず	使用せず
⑥ 工事件数及び設計等の件数	工事等の件数	件	102	77	94
	設計等の件数	件	0	0	0
	環境負荷低減に資する設計	件	0	0	0
⑦ 廃棄物等総排出量（一般廃棄物）	再利用	t	未集計	未集計	未集計
	再生利用	t	〃	〃	〃
	熱回収	t	〃	〃	〃
	単純焼却	t	〃	〃	〃
	その他	t	〃	〃	〃
⑧ 廃棄物最終処分量（一般廃棄物）	最終処分量	t	未集計	未集計	未集計
⑨ 総排出量	公共用水域	m3	180.00	182.00	179.00
	下水道	m3	－	－	－
	BOD	g	432.00	345.80	検査対象外年度

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.555kg-co2／Kwhとして算出している。

＜ 建設現場　土木 ＞

（各年度は4月～翌年3月）

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	未集計	未集計	未集計
	化石燃料	MJ	735117	624654	726338
	新エネルギー	MJ	－	－	－
	その他	MJ	－	－	－
② 総物質投入量	資源投入量	t	959.50	5935.00	7180.10
	循環資源投入量	t	3757.70	5456.90	6550.70
③ 水質源投入量	上水	m3	未集計	未集計	未集計
	工業用水	m3	－	－	－
	地下水	m3	－	－	－
④ 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg－co2	49776	42303	49220
⑤ 化学物質排出量･移動量	大気への排出量	t	使用せず	使用せず	使用せず
	公共用水域への排出	t	使用せず	使用せず	使用せず
	土壌への排出	t	使用せず	使用せず	使用せず
⑥ 廃棄物等総排出量（産業j廃棄物）	再利用	t	0.00	0.00	0.00
	再生利用	t	964.90	1324.60	2142.20
	熱回収	t	0.00	0.00	0.00
	単純焼却	t	0.00	0.00	0.00
	その他	t	0.00	0.00	0.00
⑦ 廃棄物最終処分量【産業廃棄物）	最終処分量(100%リサイクル中）	t	0.00	0.00	0.00

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.555kg-co2／Kwhとして算出している。

＜ 建設現場　建築 ＞

（各年度は4月～翌年3月）

		単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	未集計	未集計	未集計
	化石燃料	MJ	177737	200178	234052
	新エネルギー	MJ	－	－	－
	その他	MJ	－	－	－
② 総物質投入量	資源投入量	t	1007.80	5005.50	3398.80
	循環資源投入量	t	658.80	612.90	1717.00
③ 水質源投入量	上水	m3	未集計	未集計	未集計
	工業用水	m3	－	－	－
	地下水	m3	－	－	－
④ 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg－co2	11926	13432	15705
⑤ 化学物質排出量･移動量	大気への排出量	t	使用せず	使用せず	使用せず
	公共用水域への排出	t	使用せず	使用せず	使用せず
	土壌への排出	t	使用せず	使用せず	使用せず
⑥ 廃棄物等総排出量（産業廃棄物）	再利用	t	0.00	0.00	0.00
	再生利用	t	34.57	70.80	34.70
	熱回収	t	0.00	0.00	0.00
	単純焼却	t	0.00	0.00	0.00
	その他	t	0.00	0.00	0.00
⑦ 廃棄物最終処分量【産業廃棄物）	最終処分量	t	20.80	16.80	19.73

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.555kg-co2／Kwhとして算出している。

2）【環境への取組みの把握】

環境への取組みについて自己チェックした結果は次のとおりである。

〈 事業所 〉

施策		平成22年7月		平成23年3月	
		評価点	満点	評価点	満点
1. 事業活動へのインプットに関する項目					
	1）省エネルギー、新エネルギーの拡大	10	10	10	10
	2）省資源、グリーン購入	20	22	22	22
	3）節水、水の効率利用	12	12	12	12
小　　計		42	44	44	44
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目					
	1）二酸化炭素の排出抑制、大気汚染等の防止	12	24	27	36
	2）科学物質対策	0	4	0	4
	3）廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	45	60	51	66
	4）輸送に伴う環境負荷の低減	9	30	9	30
小　　計		66	118	87	136
3. 事業活動そのものが環境改善等に結びつく項目					
	1）建物等の設計における環境配慮（提案）	17	38	17	38
	2）環境影響評価・環境配慮の基本的方針	0	6	0	6
	3）環境保全のための仕組み・体制の設備	34	50	34	50
	4）環境教育、環境保全活動の推奨等	3	6	3	6
	5）情報提供、社会貢献、地域への環境保全	15	24	15	24
	6）環境ビジネス、技術開発	0	0	0	0
小　　計		69	124	69	124
合　　計		177	286	200	304
		実施率	62%	実施率	66%

〈 建設現場 〉

施策		平成22年7月		平成23年3月	
		評価点	満点	評価点	満点
1. 事業活動へのインプットに関する項目					
	1)省エネルギー、新エネルギーの拡大	0	0	0	0
	2)省資源、グリーン購入	6	12	6	12
	3)節水、水の効率利用	0	0	0	0
	4)大気汚染等の防止	3	6	6	6
	5)化学物資対策	3	10	6	10
	6)廃棄物の排出の抑制、ﾘｻｲｸﾙ、適正処理	21	34	23	34
	7)排水に伴う環境負荷の低減	3	10	3	10
	8)輸送に伴う環境負荷の低減、排水に伴う環境負荷の低減	9	18	12	24
	9)悪臭、騒音、振動防止	2	10	2	10
	10)緑化などの地域環境の保全	0	0	0	0
	11)その他、施工～改修～解体工事に当っての環境配慮	3	6	6	12
小計		50	106	64	118
2. 事業活動そのものが環境改善等に結びつく項目					
	1)環境保全のための仕組み・体制の設備	12	44	12	44
	2)環境教育、環境保全活動の推奨等	0	6	0	6
	3)情報提供、社会貢献、地域への環境保全	3	24	3	24
小計		15	74	15	74
合計		65	180	79	192
		実施率	36%	実施率	41%

〈 評価 〉

事業所の22年7月の評価 ： 286点満点中、評価点は177点、実施率62%

事業所の23年3月の評価 ： 304点満点中、評価点は200点、実施率66%

建設現場の22年7月の評価 ： 180点満点中、評価点は65点、実施率36%

建設現場の23年3月の評価 ： 192点満点中、評価点は79点、実施率41%

上記結果において事業所・建設現場ともに取組の拡大は見られるが、現場の実施率については、今後の改善が必要と思われる。

環境管理責任者　　松尾　公博

4. 環境目標

当社の事業活動において、環境負荷を削減していくために、次の3つの項目の取組みが重要と考え、それぞれの項目に対して削減目標を作成し、環境活動に取組むことにした。

〈 事業所 〉

1） 省エネルギー活動の推進

① 電力消費量を平成22年度より、3ヵ年で平成21年度実績の5%削減する。

項　目	単位	平成21年度（基準年）	3ヵ年目標 平成22年度～24年度 24年度までに5%削減	平成22度計画 2%削減
電力消費量	kwh	46967	44618	46027
二酸化炭素換算量（総量）	kg-co2	17566	16688	17215

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.374kg-co2／Kwhとして算出している。

② 自動車燃料の二酸化炭素の削減、燃料油消費量を平成22年度より、3ヵ年で平成21年度実績の9%を削減し、それを継続・維持する。

項　目	単位	平成21年度（基準年）	3ヵ年目標 平成22年度～24年度 24年度までに9%削減	平成22度計画 3%削減
燃料油消費量	ℓ	13032	11859	12641
二酸化炭素換算量（総量）	kg-co2	31072	28276	30140

2） 事業系一般廃棄物の削減、ﾘｻｲｸﾙ活動の推進

過去事業所での廃棄物量のデータを把握していなかったので、今回の取り組みから行う。
平成22年度にデータを集計し、平成23年度から目標設定をする。

3） 節水活動

当社における上水使用量は平成22年度より、3ヵ年で平成21年度実績の6%を削減する。

項　目	単位	平成21年度（基準年）	3ヵ年目標 平成22年度～24年度 24年度までに6%削減	平成22年度計画 2%削減
上水使用量	m3	179	168	175

〈 建設現場　土木 〉

1） 省エネルギー活動の推進

① 過去建設現場での電力消費量のデータを把握していなかったので、今回の取組から行う。
平成22年度にデータを集計し、平成23年度から目標設定をする。

② 自動車燃料の二酸化炭素の削減、燃料油消費量を平成22年度より、3ヵ年で
平成21年度実績の9%を削減し、それを継続・維持する。

項　目	単位	平成21年度 (基準年)	3ヵ年目標 平成22年度～24年度 24年度までに9%削減	平成22度計画 3%削減
燃料油消費量	ℓ	20163	18348	19558
二酸化炭素換算量 (総量)	kg-co2	49220	44790	47744

※燃料油はガソリン、軽油、灯油の合計量

2） 産業廃棄物の削減、リサイクル活動の推進

建設の廃棄物総排出量は平成22年度より、3ヵ年目標は100%リサイクルの維持とする。

現場事務所廃棄物量はデータを把握していなかったので、今回の取り組みから行う。

項　目		単位	平成21年度 (基準年)	3ヵ年目標 平成22年度～24年度	平成22度計画
産業廃棄物の排出量	再生利用	t	2142.2	100% リサイクルの維持	100% リサイクルの維持
	最終処分	t	0		
	リサイクル率	%	100		
現場事務所廃棄物量		kg	未集計	データの収集	データの収集

3） 節水活動

過去建設現場での上水使用量のデータを把握していなかったので、今回の取り組みから行う。

平成22年度にデータを集計し、平成23年度から目標設定をする。

＜ 建設現場　建築 ＞

1） 省エネルギー活動の推進

① 過去建設現場での電力消費量のデータを把握していなかったので、今回の取組から行う。
平成22年度にデータを集計し、平成23年度から目標設定をする。

② 自動車燃料の二酸化炭素の削減、燃料油消費量を平成22年度より、3ヵ年で
平成21年度実績の9%を削減し、それを継続・維持する。

項　目	単位	平成21年度 (基準年)	3ヵ年目標 平成22年度～24年度 24年度までに9%削減	平成22度計画 3%削減
燃料油消費量(ガソリンのみ)	ℓ	6764.5	6155.7	6561.6
二酸化炭素換算量 （総量）	kg-co2	15705	14291	15234

2） 産業廃棄物の削減、ﾘｻｲｸﾙ活動の推進

廃棄物総排出量は平成22年度より、3ヵ年で平成21年度実績の3%削減する。

現場事務所廃棄物量はデータを把握していなかったので、今回の取り組みから行う。

項　目		単位	平成21年度 (基準年)	3ヵ年目標 平成22年度～24年度 24年度までに3%削減	平成22度計画 1%削減
産業廃棄物の排出量	再生利用	t	34.70	33.65	34.35
	最終処分	t	19.7	(14.4)	(18.4)
	リサイクル率	%	63.7	70.00	65.00
現場事務所廃棄物量		kg	未集計	データの収集	データの収集

(　)内は参考値

3） 節水活動

過去建設現場での上水使用量のデータを把握していなかったので、今回の取組から行う。

平成22年度にデータを集計し、平成23年度から目標設定をする。

5. 環境活動計画の内容【平成22年度～平成24年度】

1） 環境目標の責任者及び担当者

〈 事業所 〉

取組項目		目標	担当者	責任者
省エネ活動	電力消費量削減	3ヵ年で5%削減	全従業員	環境管理責任者 松尾 公博
	燃料費削減	3ヵ年で9%削減	全従業員	
事業系一般廃棄物の削減 リサイクル活動の推進		データの収集	全従業員	
節水活動		3ヵ年で6%削減	全従業員	

〈 建設現場 〉 土木

取組項目		目標	担当者	責任者
省エネ活動	電力消費量削減	データの収集	全担当者	環境管理責任者 松尾 公博
	燃料費削減	3ヵ年で9%削減	全担当者	
産業廃棄物の削減 リサイクル活動の推進		100% リサイクルの維持	全担当者	
		現場事務所廃棄物のデータの収集	全担当者	
節水活動		データの収集	全担当者	

〈 建設現場 〉 建築

取組項目		目標	担当者	責任者
省エネ活動	電力消費量削減	データの収集	全担当者	環境管理責任者 松尾 公博
	燃料費削減	3ヵ年で9%削減	全担当者	
産業廃棄物の削減 リサイクル活動の推進		3ヵ年で3%削減	全担当者	
		3ヵ年でリサイクル率70%	全担当者	
		現場事務所廃棄物のデータの収集	全担当者	
節水活動		データの収集	全担当者	

2） 取組の内容

＜事業所＞

取 組 項 目		取 組 内 容
省エネ活動	電力消費量削減	① 昼休み及び不在時の照明消灯 ② 未使用時のパソコンの電源OFF ③ 室内空調は、夏期は26～28℃、冬期は20℃以下に設定
	燃料費削減	① 社用車の効率的な運転の推進 ② アイドリングストップの励行（エコドライブ10ヶ条） JAFのHP ③ 定期的な車輌整備の励行 ④ 供給燃料量を記録する
廃棄物の削減 リサイクル活動の推進		① ゴミの量を毎週軽量する。 ② 紙使用の削減 ・ 両面コピーの徹底・裏紙の使用 ・ ミスした紙は裏面をメモ用紙として使用 ・ 使用済みの封筒の再利用 ③ 社の購読の新聞などは資源ゴミとして出し、再資源化率を向上 ④ ゴミの分別の徹底
節水活動		① 水道の蛇口を調節して、必要以上に使いすぎないようにする ② 流しっぱなしにしない ③ トイレの使用の際に注意して、水を使用する

＜建設現場＞　土木・建築共通

取組項目		取組内容
省エネ活動	電力消費量削減	① 昼休み及び不在時の照明消灯 ② 未使用時のパソコンの電源OFF ③ 室内空調は、夏期は26～28℃、冬期は20℃以下に設定
	燃料費削減	① 社用車の効率的な運転の推進 ② アイドリングストップの励行（エコドライブ10ヶ条） JAFのHP ③ 定期的な車輌整備の励行 ④ 供給燃料量を記録する
廃棄物の削減 リサイクル活動の推進		① ゴミの量を毎月計量する。 ② 紙使用の削減 ・ 両面コピーの徹底・裏紙の使用 ・ ミスした紙は裏面をメモ用紙として使用 ・ 使用済みの封筒の再利用 ③ ゴミの分別の徹底 ④ 建設廃棄物の分別の徹底 ⑤ 再利用先の拡大
節水活動		① 水道の蛇口を調節して、必要以上に使いすぎないようにする ② 流しっぱなしにしない ③ トイレの使用の際に注意して、水を使用する

6. 環境目標の実績及び取組結果の評価【平成22年度】

(1)環境負荷の実績

当社における過去1年間の環境負荷は、次のとおりである。

＜ 事業所 ＞

平成22年度(平成22年4月～平成23年3月)

		単位	平成22年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	461611
	化石燃料	MJ	373410
	新エネルギー	MJ	−
	その他	MJ	−
② 総物質投入量	資源投入量	t	−
	循環資源投入量	t	−
③ 水質源投入量	上水	m3	172.00
	工業用水	m3	−
	地下水	m3	−
④ 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg−co2	42613.5
⑤ 化学物質排出量･移動量	大気への排出量	t	使用せず
	公共用水域への排出	t	使用せず
	土壌への排出	t	使用せず
⑥ 工事件数及び設計等の件数	工事等の件数	件	108
	設計等の件数	件	0
	環境負荷低減に資する設計	件	0
⑦ 廃棄物等総排出量	再利用	t	0.00
	再生利用	t	0.762
	熱回収	t	0.000
	単純焼却	t	0.630
	その他	t	0.000
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量	t	0.000
⑨ 総排出量	公共用水域	m3	172.00
	下水道	m3	−
	BOD	g	86.00

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.374kg-co2／Kwhとして算出している。

＜ 建設現場　土木 ＞

平成22年度（平成22年4月～平成23年3月）

		単位	平成22年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	174306
	化石燃料	MJ	864936
	新エネルギー	MJ	－
	その他	MJ	－
② 総物質投入量	資源投入量	t	1418.90
	循環資源投入量	t	5604.80
	その他	t	1678.10
③ 水質源投入量	上水	m3	76.00
	工業用水	m3	－
	地下水	m3	－
④ 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg－co2	64169
⑤ 化学物質排出量･移動量	大気への排出量	t	使用せず
	公共用水域への排出	t	使用せず
	土壌への排出	t	使用せず
⑥ 廃棄物等総排出量	再利用	t	12.90
	再生利用	t	1790.90
	熱回収	t	0.00
	単純焼却	t	0.11
	その他	t	0.00
⑦ 廃棄物最終処分量	最終処分量	t	142.70

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.374kg-co2／Kwhとして算出している。

＜ 建設現場　建築 ＞

平成22年度（平成22年4月～平成23年3月）

		単位	平成22年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	49232
	化石燃料	MJ	270572
	新エネルギー	MJ	－
	その他	MJ	－
② 総物質投入量	資源投入量	t	1230.43
	循環資源投入量	t	294.75
	その他	t	147.36
③ 水質源投入量	上水	m3	190.00
	工業用水	m3	－
	地下水	m3	－
④ 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg－co2	20002
⑤ 化学物質排出量･移動量	大気への排出量	t	使用せず
	公共用水域への排出	t	使用せず
	土壌への排出	t	使用せず
⑥ 廃棄物等総排出量	再利用	t	0.00
	再生利用	t	102.08
	熱回収	t	0.00
	単純焼却	t	0.66
	その他	t	0.00
⑦ 廃棄物最終処分量	最終処分量	t	37.53

購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.374kg-co2／Kwhとして算出している。

(2)取組結果の評価

〈 事業所 〉

（平成22年4月～平成23年3月）

1） 省エネルギー活動の推進

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年実績値	達成率	評価
電力消費量	kwh	46027	46300	99%	○
二酸化炭素換算量 （総量）	kg-co2	17215	17316	99%	○

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
燃料油消費量	ℓ	12641	10381	122%	○
二酸化炭素換算量 （総量）	kg-co2	30140	25297	119%	○

2） 事業系一般廃棄物の削減(H22年度データ収集済)

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
再生利用	t	データ収集	0.762		-
最終処分	t	データ収集	0.63		-
リサイクル率	%	データ収集	55		-
廃棄物総量	t	データ収集	1.392		-

3） 節水活動

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
上水使用量	m3	175	172	102%	○

○90％以上,△70～89％,×70％未満

〈 評価 〉

事業所の燃料・上水使用量においては目標以上の削減を達成した。特に上水使用量は
運用期間(22年4月～6月)は目標達成できなかったので、社員の節水意識向上が見られる。
電力使用量については目標達成できたが、更な削減に努めたい。
廃棄物の削減は、23年度より目標達成に努めたい。

環境管理責任者　　松尾　公博

〈 建設現場 〉　土木

（平成22年4月～平成23年3月）

1） 省エネルギー活動の推進(H22年度データ収集済)

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
電力消費量	kwh	データの収集	17483		-
二酸化炭素換算量 （総量）	kg-co2	データの収集	6539		-

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
燃料油消費量	ℓ	19558	23528	83%	△
二酸化炭素換算量 （総量）	kg-co2	47744	57433	83%	△

2） 産業廃棄物の削減

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
再生利用	t	100% リサイクルの維持	1803.8		-
最終処分	t		142.81		-
リサイクル率	%		92	92	○
現場事務所廃棄物量	kg	データの収集	450		-

3） 節水活動(H22年度データ収集済)

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
上水使用量	m3	データの収集	76		-

○90%以上,△70～89%,×70%未満

〈 建設現場 〉　建築

（平成22年4月～平成23年3月）

1） 省エネルギー活動の推進(H22年度データ収集済)

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
電力消費量	kwh	データの収集	4938		-
二酸化炭素換算量 （総量）	kg-co2	データの収集	1847		-

項　目	単　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
燃料油消費量	ℓ	6562	7820	84%	△
二酸化炭素換算量 （総量）	kg-co2	15234	18155	84%	△

2） 産業廃棄物の削減

項　　目	単　　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
再生利用	t	34.35	102.07	34%	×
最終処分	t	(18.4)	(37.5)	49%	×
リサイクル率	%	65	73	112%	○
現場事務所廃棄物量	kg	データの収集	82.00		-

(　　)内は参考値

3） 節水活動(H22年度データ収集済)

項　　目	単　　位	H22年度目標値	H22年度実績値	達成率	評価
上水使用量	m3	データの収集	190.00		-

○90%以上,△70～89%,×70%未満

〈 評価 〉

工事現場全体的に目標達成が出来なかった項目が目立ちますが、本年は例年以上に遠距離の現場が増えた等の理由と思われる。

データ収集項目については、23年度より目標達成に努めたい。

環境管理責任者　　松尾　公博

7. 代表者による評価と見直し

事業所並びに建設現場を通して、目標達成項目、目標の達成が出来なかった項目、データの収集項目とありましたが、今年度は例年以上に遠距離の現場が増えた事等により目標達成が出来なかった項目があると思われます。
一年間取り組んでみて、環境に対する社員の意識向上については一定の効果が見えたと思われるので、今後も環境に配慮した事業所となるように全社員で取り組む。

平成23年3月31日

代 表 取 締 役　　松 尾　俊 昭

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1) 対象となる主な環境関連法 法令リスト

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	対応策	違反の有無	確認印
建築業法 (土木建築)	建設業において資質の向上、工事の請負契約の適正化等を図ることによって、適正な施工を確保し、なおかつ公共の福祉の増進に寄付する。	建設業法に応じた運用	無	
騒音規正法 第14条	建設工事で発生する騒音について必要な規制を行うとともに、自動車騒音についての許容制度を定めている。	早朝夜間作業の自粛	無	
振動規正法 第14条	建設工事で発生する相当範囲にわたる振動について必要な規制を行うことと、道路交通振動に関する要請の措置を定めている。	低騒音低振動機械等の使用 規制値遵守	無	
水道法 第51条の2．3	水道の布設及び管理を適正かつ合理的に行い、水道整備と保護育成することによって水の供給を図り、生活環境の改善を寄与する。	水道法に応じた運用	無	
浄化槽法 第10条	浄化槽によるし尿及び雑排水の適正な処置を図る	2ヶ月に1回の保守点検を委託	無	
省エネルギー法	建築物及び自動車等のエネルギーを消費する機械器具について、エネルギーの使用の合理化を総合的に進める措置を講じている。	省エネルギー法に応じた適応	無	
廃棄物処理法 第12条	廃棄物の排出を抑制し、廃棄物の適正な処理を行う。	マニフェストの管理 委託契約書の締結	無	
再生資源 利用促進法	資源の有効な利用の確保を図るとともに、廃棄物の発生の抑制及び環境の保全に資する為、再生資源の利用の促進に関する所要の措置を講じている。	リサイクル法に応じた運用・グリーン購入法	無	
消防法 第17条の3	消防用設備等の設置	消防法に応じた運用	無	
土壌汚染対策法	土壌汚染の状況の把握に関する措置及びその汚染による人の健康被害の防止に関する措置を定めている。	土壌汚染対策法に応じた運用	無	
労働安全衛生法 第59条	責任体制の明確化をはじめ、職場の労働者の安全と健康の確保と快適職場環境の形成を促進する。	危険防止措置及び労働災害防止	無	
佐賀県環境 基本条例	第2条 環境への負荷への低減	佐賀県環境基本条例に応じた運用	無	
武雄市環境保全及び河川条例	第1条 武雄市空き地等の環境保全に関する条例 第5・6・9・11・13条 武雄市の河川をきれいにする条例	条例に応じた運用	無	

2) 違反、訴訟等

法律などの遵守状況のチェックに記載のように環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局による違反の指摘も過去3年受けておりません。

平成 23 年 3 月 31 日

代 表 取 締 役　　松 尾 俊 昭

環 境 管 理 責 任 者　　松 尾 公 博

9.　教育訓練の実施

日時 ：　平成22年7月1日(木曜日) 10:00 ～ 11:00

当社の安全大会において講師として㈱地域総合研究所　代表取締役　朝永　憲法氏に演題 「 エコアクション 21 」の取組みについて講演頂きました。